

第17回部門懇談会議事録

日時 平成28年10月15日(土) 午後1時~2時30分

場所 日本材料学会会議室

出席者 高橋浩之(副会長・主査)、田中和人(庶務理事)、鶴田浩章(会計理事、混和材料)、菅田淳(疲労)、徳満勝久(高分子)、山崎泰広(高温)、栗村隆之(X線)、藤本慎司(腐食)、勝見武(地盤)、芥川真一(岩力)、鎌田敏郎(工事用)、岡村一男(新日鐵住金)、木村佳文(極限環境)、大窪和也(複合材)、上野明(フラクト)、井面仁志(信頼性)、箕島弘二(破壊)、塩野剛(セラミック)、板橋正章(衝撃)、君塚肇(分子動)、磯野吉正(マイクロ)、吉本昌広(半導体)、田中基嗣(生体医療)

以上23名 事務局(増永千春)

議事

1. 第16回部門懇談会議事録について

第16回部門懇談会議事録を確認した。

2. 理事推薦について

田中庶務理事から、次期役員候補者推薦委員会委員について説明があり、疲労、高温、腐食の各委員会に推薦の依頼があった。また、次期理事候補者の推薦について説明があり、本年度より各部門委員会から1名の理事候補者を推薦することができることが説明された。

3. 学会標準について

本日の理事会にて、標準審査委員会が発足する予定であること、標準審査委員会発足後、既存の学会標準を企画・出版した部門委員会には、見直しの有無を問い合わせる予定であることが説明された。

4. 各部門の活動状況・課題について

各部門より、部門委員会、集会事業の開催などの活動状況と部門の課題について報告があった。部門から報告された主な課題としては下記があげられた。

○活発に活動すればするほど黒字になる。

○流動資産を減らす目的として、参加費の無料化、減額などを実施している。

○部門委員の数が少ないあるいは固定化している問題がある。企業の方の数が少ない。

○分子動とマイクロは、共同で再編を検討している。

5. その他(連絡事項)

下記の事項について田中庶務理事より説明があった。

○平成28年度事業報告、決算、平成29年度事業計画、予算依頼について説明があった。平成29年度事業計画、予算については、例年よりも締め切りが一ヶ月程度早くなっているので注意していただきたい旨連絡があった。

○平成29、30年度代議員選挙について説明があり、候補者の推薦をお願いする旨連絡があった。